

めぐって学んで五感で味わう紫波探訪

地域の魅力は「食」の魅力。産直から、町の元気を発信します。旬の味覚や郷土料理、食のイベントを通じて、地域の魅力や生産者・販売者とのふれあいを楽しんでみませんか。



季節の野菜と、
質が良く種類豊富な果物が
長岡産直組合の自慢です!



▲長岡産直組合を通るウォーキング内には、リンゴ畑に囲まれた展望台があり、晴れた日には正面に岩手山を望みます(農園への立ち入りは、長岡中央果樹生産組合の許可が必要です。電話 ☎676-4429)で連絡または事務所にお声掛けください)

◀長岡産直組合 組合長の山口貢さん

爽やかな酸味が特徴です。「石手県食の匠」に認定されている長岡地区在住の細川玲子さんによる料理教室も年に数回開催。「ひなまんじゅう」や「きりせんしょ」など、地域の味を広めています。



長岡産直組合(ルート396長岡)

- 住所 紫波町西長岡字下和野1-1
- 営業時間 午前8時30分～午後6時(5～10月)
午前9時～午後5時(11～4月)
- 定休日 年末年始
- 問合せ ☎672-5031

7月の旬は、トマトやキュウリなどの夏野菜。8月ごろからは、桃やメロンも店頭に並びはじめる予定です。(天候により入荷時期は異なります)夏の贈り物として、長岡地区産のシヨナゴールドを使ったりんごジュースも人気。

ウォーキングの際は、通路を外れて田畑や宅地に立ち入ったり、通路沿いの農作物にさわったりといった迷惑行為は絶対に行わないようにしましょう。



「野菜」と「果物」のエリアに分かれる店内。9月ごろからは豊富な種類のリンゴやブドウが並びます

フルーツの里・長岡で、旬の味と果樹園ウォーキングを満喫

国道396号沿いにあり、「ルート396長岡」の愛称で親しまれている長岡産直組合。長岡地区は、山側にリンゴやブドウなどの広大な果樹園が広がり、北上川沿いでは野菜の栽培が盛んです。



【食材豆知識】旬を迎えるトマトを、デザート感覚で食べてみませんか。皮を湯むきしたトマトを、砂糖水のシロップに漬けて冷蔵庫で寝かせます。冷えたらレモン汁をかけて完成! 爽やかな夏の味わいを楽しめます。